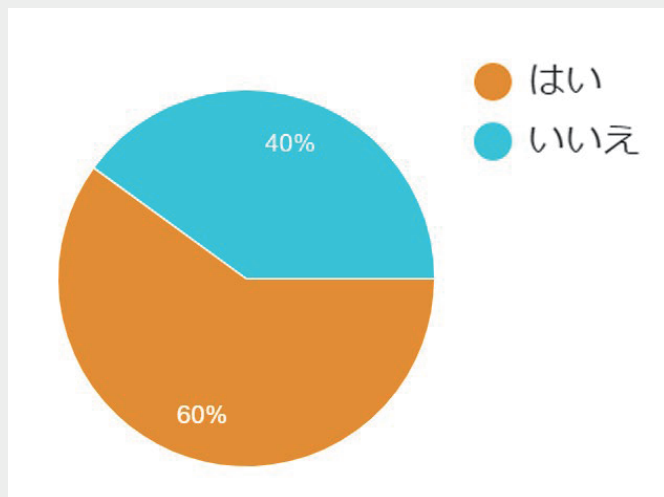


身の回りの障害者に対して関わりづらいつと感じたことはありませんか？

- ・ 障害者が困っている時にどう声をかければいいのかわからなかった
- ・ 障害者に過保護になりすぎて相手を不快な気持ちにしまった

実際に関わりづらいかクラスメイトにアンケートをとったところ・・・



● 関わりづらいつと感じる人は**60%**でした。

- ・ 相手が何が嫌かわからないから
- ・ どこまでなら失礼にあたらないか難しいから
- ・ どう接したらいいかわからず、相手を不快にさせてしまうかもしれないと思うと大変だから

などの理由があがりました。

このように感じるのは「**相手を知らないこと**」に原因があり、
相手を知っていれば、関わりづらさや壁をなくせるのではないか

障害者と健常者がお互いに助け合える社会を実現するために…

「自分のことを**知**ってもらい、身近な人について**知**る」をテーマにした
教育プログラム『**たすけのたすき**』を提案します！

①「きみを知るための教科書」(資料1)を記入して
もらい授業内で生徒同士に共有してもらう

資料1

たすけのたすき なまえ _____

す とくい
☐ 好きなこと、得意なこと
_____ がすき!

にがて たす
☐ 苦手なこと、助けてほしいこと
_____ にがて、
_____ が苦手、
_____ なとき、
_____ ほ
して欲しい!

☐ しなくてほしいこと/されたくないこと

☐ フリースペース _____



普通の自己紹介
カードと違い、
苦手だったり
不得意なこと
も記入してもら
い、カードを読
み合うことで相
手の苦手を**知り**、
自分の得意分野
で補い合うこと
を目的としてい
ます。

②障害を知るワークショップ

障害者への理解を深めてもらうため、装具のデザイン(資料2)
や状況に応じた支援の仕方などを考えてもらう

資料2



幼い頃から装具や障害に
ついて正しく理解しても
らうことで「障害＝触れ
てはいけないもの、よく
わからないもの」という
先入観を生み出さず、
当たり前に日常にある
ものという認識をもって
もらうこと目的にしてい
ます。

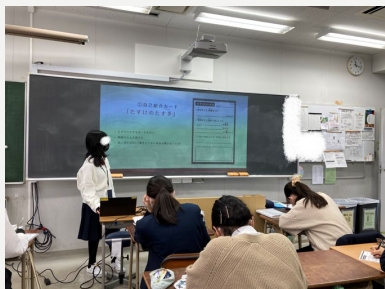
たすけのたすき

クラスのみんなに協力してもらい、実践させていただきました！(所要時間:30分)

今回行ったプログラム

1. 「きみを知るための教科書」の記入・共有
今回は3~4人の班で行いましたが、共有はクラス全体で行いたいです。
2. 障害を知るワークショップ
→資料2を使い、義足のデザインを「テーマ：自由」で考えてもらいました。

1. 「君を知るための教科書」の記入・共有



たすけのたすき 名まえ

好きなこと、得意なこと

苦手なこと、助けてほしいこと

〇好きなこと、得意なこと

〇苦手なこと、助けてほしいこと

〇しないでほしいこと/されたくないこと

〇フリースペース

たすけのたすき 名まえ

好きなこと、得意なこと

苦手なこと、助けてほしいこと

〇好きなこと、得意なこと

〇苦手なこと、助けてほしいこと

〇しないでほしいこと/されたくないこと

〇フリースペース

たすけのたすき 名まえ

好きなこと、得意なこと

苦手なこと、助けてほしいこと

〇好きなこと、得意なこと

〇苦手なこと、助けてほしいこと

〇しないでほしいこと/されたくないこと

〇フリースペース

たすけのたすき 名まえ

好きなこと、得意なこと

苦手なこと、助けてほしいこと

〇好きなこと、得意なこと

〇苦手なこと、助けてほしいこと

〇しないでほしいこと/されたくないこと

〇フリースペース

2. 障害を知るワークショップ

このワークショップは、様々な障害をテーマにして行います。今回は身体障害について取り扱いました。



まず、義足の種類や用途について説明しました。



10分ほどの時間で記入してもらいました。



実際に記入したもの(本人に許可をいただきました)

今回の実践で頂いた感想

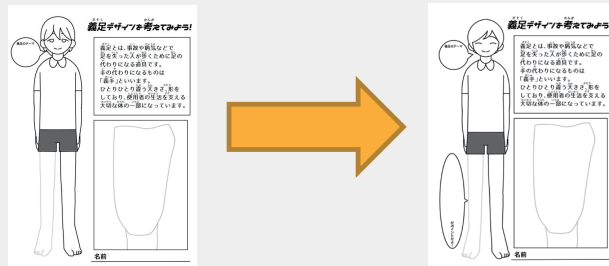
1 「君を知るための教科書」について

- クラスメイトの**知らなかった一面**が知れてとても良い機会になった。
- 得意なことや苦手なこと共有してみて、お互いのことを深く知らなかったという自覚につながった。**もっと知りたいと思った。**
- 自分の苦手なことをみんなに伝えるいい機会になった。

反省

- 記入時間が短く、急かしてしまった。
解決策：5分→**10分**に延ばす
- テンプレートの文が限定的で書き手に修正させてしまった。もっと記入しやすいデザインを考える。

解決策：

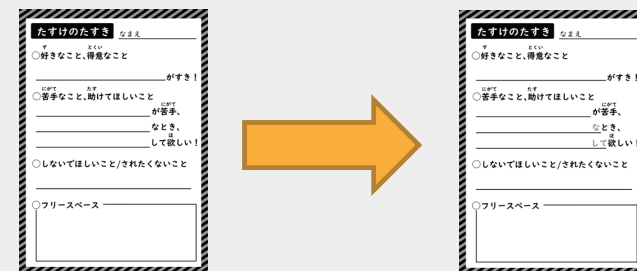


2 「障害を知るワークショップ」について

- 義足のデザインは、**楽しく**「義足」というものに**触れる事が出来た。**
- 義足デザインが人それぞれでバリエーション豊富で面白かった。
- 義足のデザインの種類とか**関わりを持つきっかけ作り**がわかりやすくとても楽しかった。

- テンプレートにデザインの意図を書き込むスペースがなかった。スペースを設ければ、デザイナーの思いがよりくみ取れると思う。

解決策：



- 小学生に向けたプログラムなので、装飾用の市販のシールなども用意するべきだと思った。



身の回りの障害者について知らない事が原因で『関わりづらい・怖い』など
マイナスなイメージを抱えている人が多いのが現状です。

そこで周囲の人が障害の有無に関わらず助け合えるように情報共有できる
アイテムが欲しい！という思いからこのプログラムを考えました。

障害者健常者に関わらずお互いに支え合える社会を目指し、
まずは『たすけのたすき』が周囲の人に歩み寄る為の一助になったら幸いです。